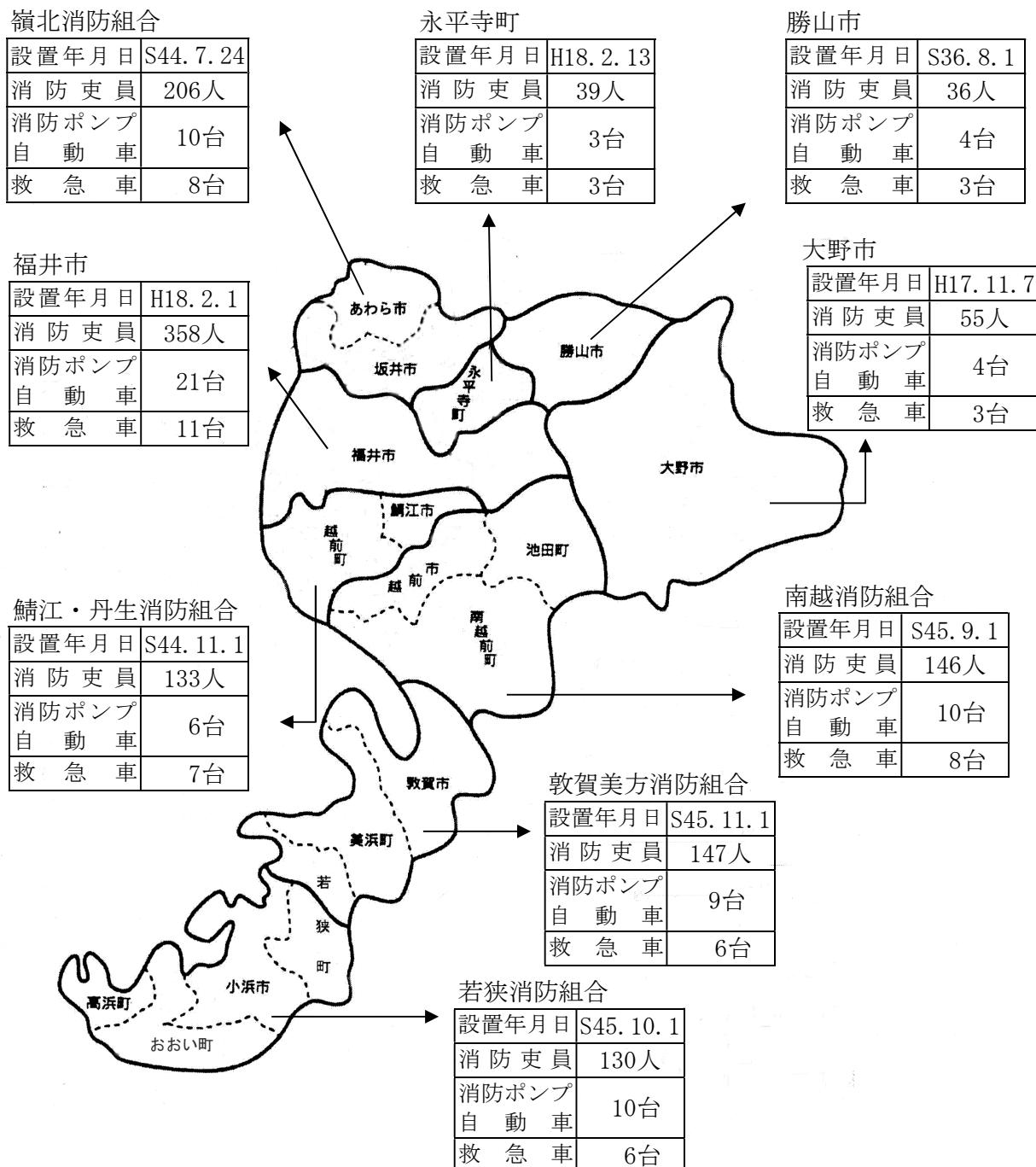


消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(令和7年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積 (国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和7年4月1日現在)	4,190.59 km ²
令和2年国勢調査(確定値) 人口	766,863 人
推計人口(令和7年4月1日現在)	734,119 人
推計世帯数(令和7年4月1日現在)	299,571 世帯
65歳以上高齢者数(福井県の推計人口 令和6年10月1日現在)	232,132 人
高齢化率 ()	31.4% %
地域別人口	福井坂井地区 (令和2年国勢調査 確定値) 奥越地区 丹南地区 嶺南地区
福井坂井地区 (令和2年国勢調査 確定値)	397,298 人
奥越地区	53,436 人
丹南地区	181,456 人
嶺南地区	134,673 人
令和6年火災状況	火災件数 うち 建物火災件数 94 件 林野火災件数 3 件 建物焼損面積(床) 4,621 m ² 林野焼損面積 126 a 損害額 うち 建物火災 251,253 千円 死 者(自殺者数内数) 10 人 負 傷 者 21 人 出火率(人口1万人に対する出火件数) ※人口:令和6年1月1日現在 2.14 件
令和6年救急状況	救急出場件数 うち 急病 22,320 件 交通事故 2,058 件 一般負傷 5,667 件 搬送人員 31,846 人
消防本部・署所	消防本部 単独設置市 3 単独設置町 1 消防一部事務組合 5 消防署数 19 出張所数 26 消防職員 消防吏員 1,250 人 その他の職員 26 人 合計 1,276 人
消防団	消防団数 18 分団数 236 消防団員 非常勤団員数 5,806 人 常勤団員数 一 合計 5,806 人

区分		消防本部・署所	消防団		
消防車両等	普通消防ポンプ自動車	54 台	123 台		
	水槽付消防ポンプ自動車	23 台	4 ー		
	はしご付消防ポンプ自動車	8 台	ー		
	屈折はしご付消防ポンプ自動車	3 台	ー		
	大型高所放水車	1 台	ー		
	泡原液搬送車	2 台	ー		
	化学消防自動車	14 台	ー		
	指揮車	20 台	ー		
	小型動力ポンプ付積載車	4 台	192 台		
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	25 台	67 台		
	広報車	26 台	ー		
	資機材搬送車	29 台	ー		
	屈折放水塔車	1 台	ー		
	救急自動車	57 台	ー		
	救助工作車	13 台	ー		
	その他の車両	37 台	ー		
消防水利	消火栓	公 設	18,987 個		
		私 設	98 個		
	防火水槽	100m³以上	123 基		
		60m³以上 100m³未満	124 基		
		40m³以上 60m³未満	5,024 基		
		20m³以上 40m³未満	457 基		
	井戸	公 設	79 個		
		私 設	ー		
その他			522 個		
通信施設等	消防用無線	基地局および固定局	66 局		
		移動局	1,128 局		
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	24 局
			同報受信設備		47,425 局
		県	移動無線	基地局	5 局
			移動局		455 局
		固定系	地上系		28 局
			衛星系		68 局
			移動系	基地局等	18 局
			移動局等		221 局
	テレビ監視装置				2 基
	火災報知専用電話				97 回線
	消防電話				225 回線

第2章 火災の実態

1 概況

令和6年度中の火災発生件数は158件、死者10人、負傷者21人、損害額3億2,564万円、焼損棟数138棟、り災世帯数69世帯、り災人員153人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日892万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成30年中が最も多く、令和3年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は158件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が94件で全体の56.3%を占め、車両火災28件(17.7%)、林野火災4件(1.9%)、船舶火災2件(1.27%)、その他火災32件(20.3%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が44件(46.0%)で最も多く、次いで工場13件(14.0%)、事務所等9件(10.0%)、共同住宅6件(6.0%)、倉庫、飲食店それぞれ4件(4.0%)、特定複合用途施設3件(3.0%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、出火件数の多い月は3月と6月の17件で、少ない月が9月と10月の9件となっている。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は3億2,564万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が2億4,785万円で全体の76.0%を占め、次いで車両6,104万円(61.0%)となっている。火災1件当たりの損害額は約206万円となる。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、5月の損害額が約6,146万円で最も多く、9月が約2万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではストーブが最も多く、次いで、こんろ10件、たき火8件、電気機器7件などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が6人、火傷が2人となっている。

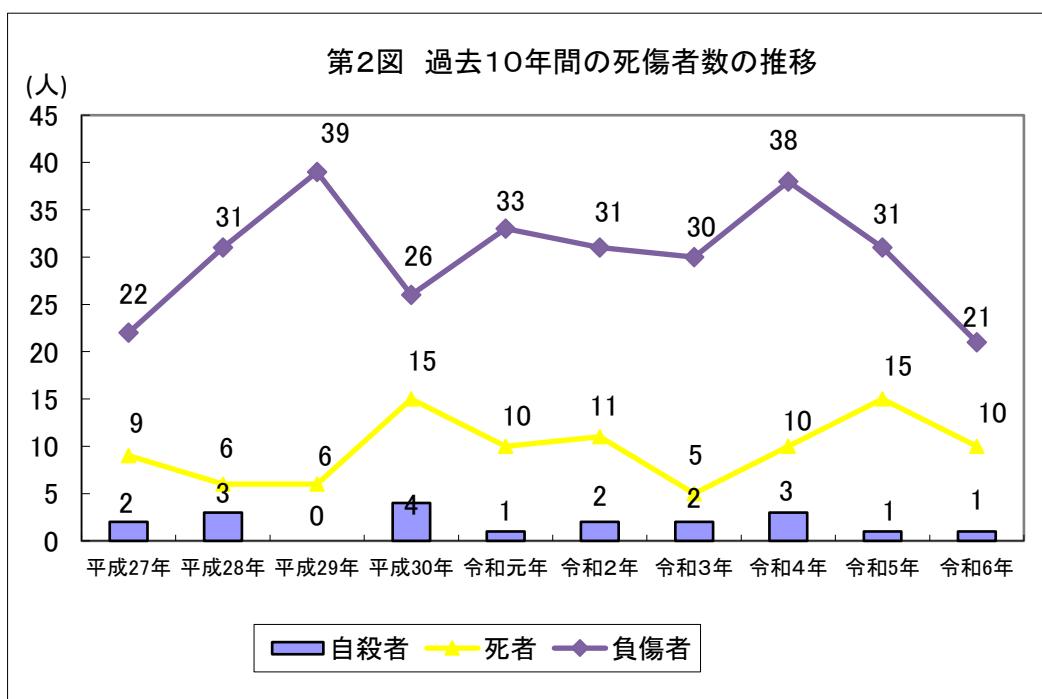
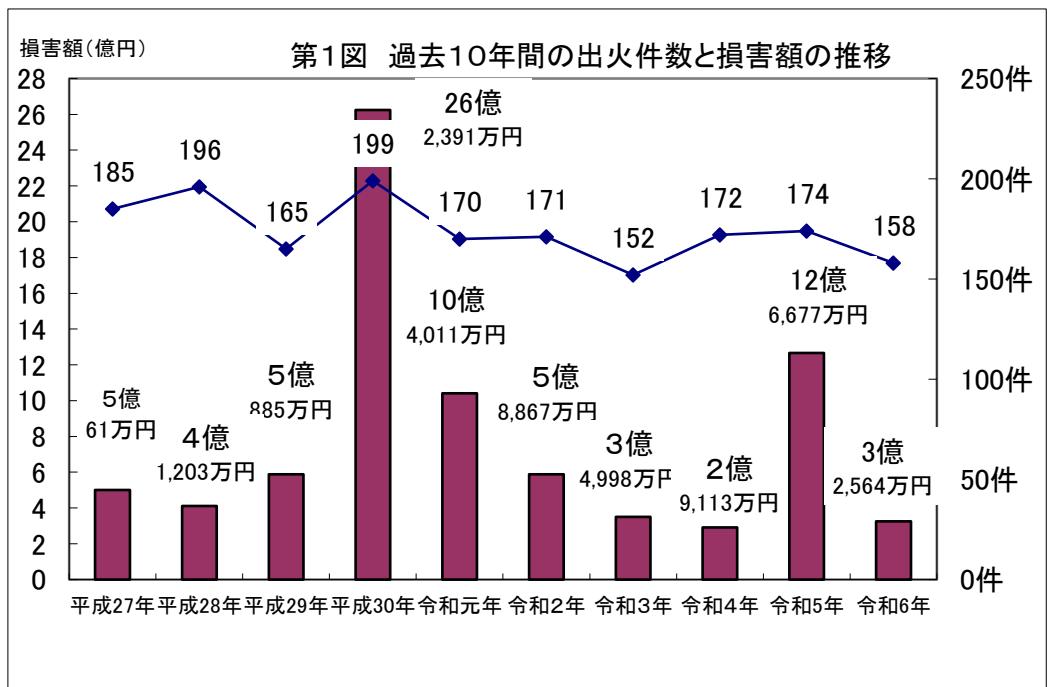
また、令和6年中の死者に占める65歳以上の高齢者は6人で全体の約6割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

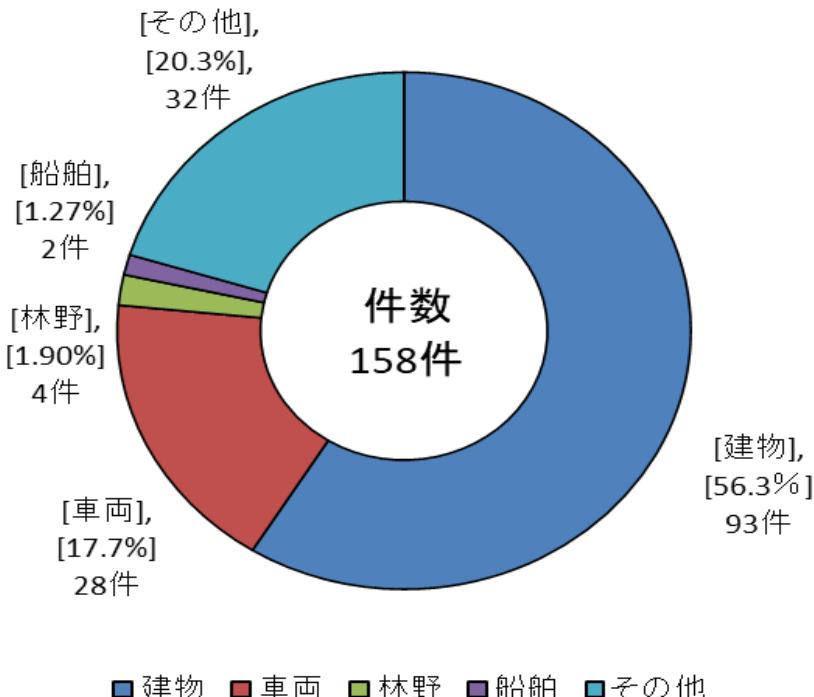
区分	単位	令和6年 (A)	令和5年 (B)	対前年増加数 (A)-(B)
出火件数	件	0.43	0.48	△ 0.05
損害額	万円	892	347	545.00
焼損棟数	棟	0.38	0.48	△ 0.10
り災世帯数	世帯	0.19	0.24	△ 0.05
り災人員	人	0.42	0.54	△ 0.12

第2表 令和6年火災発生状況と前年比較表

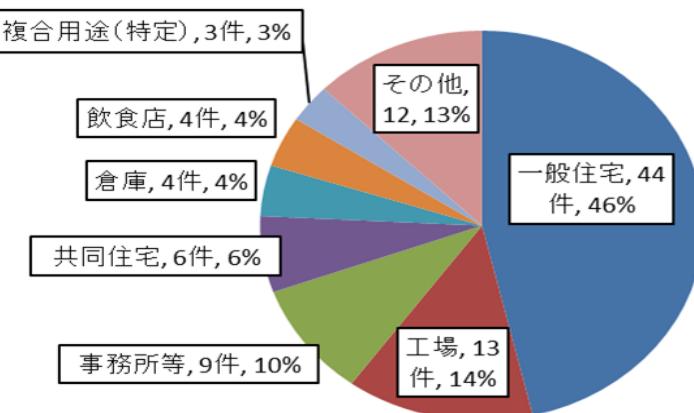
区分	令和6年(A)	令和5年(B)	対前年増加数 (A)-(B)=(C)
総出火件数	158	174	△ 16
	建物	93	△ 5
	林野	3	△ 1
	車両	28	5
	船舶	0	0
その他	32	49	△ 17
焼損棟数(棟)	138	176	△ 38
	全焼	28	△ 23
	半焼	11	△ 5
	部分焼	44	△ 14
	ぼや	55	4
り災世帯数(世帯)	69	86	△ 17
	全損	15	△ 11
	半損	6	△ 10
	小損	48	4
り災人員(人)	153	198	△ 45
建物焼損面積(m ²)	4,372	17,335	△ 12,963
林野焼損面積(a)	126	14	112
損害額合計(千円)	325,637	1,266,774	△ 941,137
建物	247,853	1,199,973	△ 952,120
	136	69	67
	61,047	10,863	50,184
	1,633	0	1,633
	14,492	54,147	△ 39,655
	476	1,722	△ 1,246
死 者(人) ()は放火自殺者内数	10	15	△ 5
	(1)	(1)	0
	9	14	△ 5
			0
	0	0	0
	1	0	1
			0
	0	0	0
	0	1	△ 1
			0
負傷者(人)	21	31	△ 10
建物	19	24	△ 5
	0	1	△ 1
	0	4	△ 4
	0	0	0
	2	2	0
出火率 (人口1万人に対する出火件数)	2.12	2.33	



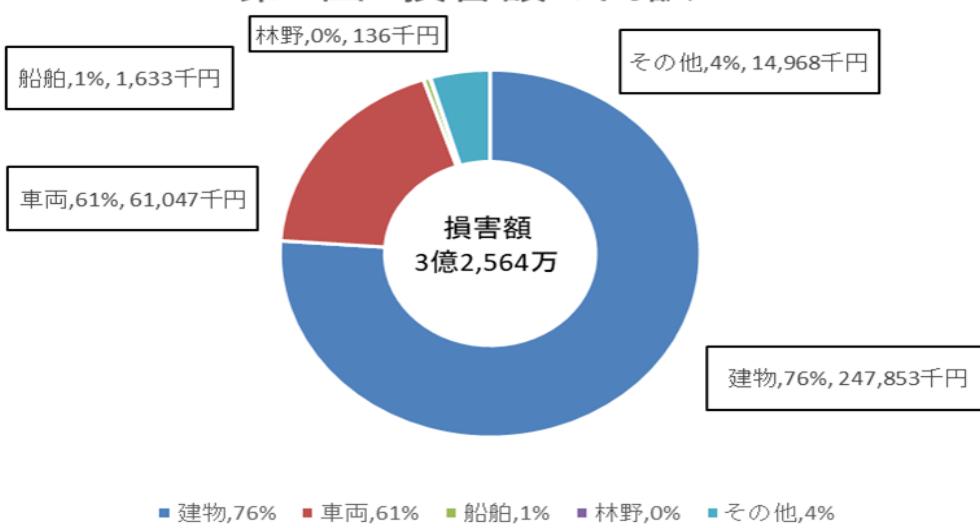
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 建物火災用途別内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 令和6年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)						焼損面積				り災世帯数(世帯)				り 災 人 員 (人)	死 () 内 は 放 火 自 殺 者 (人)	負 傷 者 (人)	損害額(千円)					
	合	建	林	車	船	そ	合	全	半	部	ぼ	建	林	合	全	半	小	合	建	林	車	船	そ	爆					
	計	物	野	両	舶	他	計	焼	焼	焼	や	物	野	計	損	損	損	計	物	野	両	舶	他	発					
1	14	11	0	2	0	1	19	6	1	4	8	918	0	4	2	0	2	11	1	0	4	48,839	35,018	0	8,276	0	5,545	0	
2	15	10	0	2	0	3	19	4	1	5	9	1,011	0	12	2	1	9	23	0	0	1	26,910	23,960	0	125	0	2,825	0	
3	17	10	0	5	0	2	12	1	1	5	5	481	0	8	1	1	6	28	2	0	3	25,432	23,290	0	2,139	0	3	0	
4	16	10	0	3	0	3	14	2	2	4	6	301	0	8	3	1	4	11	5	0	3	37,930	35,320	0	2,605	0	5	0	
5	13	8	2	0	0	3	11	4	0	3	4	582	120	4	2	0	2	10	0	0	3	61,463	61,458	0	0	0	5	0	
6	17	8	1	2	1	5	11	3	1	4	3	291	6	2	1	0	1	4	1	1	2	19,089	5,839	136	11,395	1,628	91	0	
7	10	5	0	3	0	2	5	0	0	2	3	11	0	2	0	0	2	6	0	0	2	3,812	2,787	0	461	0	88	476	
8	12	3	0	4	0	5	3	1	0	0	2	97	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35,660	9,288	0	26,365	0	7	0	
9	9	3	0	3	0	3	3	0	0	0	3	0	0	2	0	0	2	7	0	0	0	8,818	24	0	6,916	0	1,878	0	
10	9	7	0	1	0	1	12	1	3	1	7	123	0	2	0	0	2	2	0	0	0	2,542	1,897	0	645	0	0	0	
11	14	9	0	3	1	1	18	4	0	11	3	652	0	19	3	2	14	37	0	0	2	35,401	33,247	0	2,120	5	29	0	
12	12	9	0	0	0	3	11	2	2	5	2	317	0	6	1	1	4	14	1	0	0	19,741	15,725	0	0	0	4,016	0	
計	158	93	3	28	2	32	138	28	11	44	55	4,784	126	69	15	6	48	153	10	1	21	325,637	247,853	136	61,047	1,633	14,492	476	

第4表 市町別火災発生状況表

期間:令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					罹災世帯数(世帯)			罹災人員(人)	死傷者数(人)		焼損面積			損害額(千円)								
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	部焼	ぼや	計	全損	半損	小損	死者	負傷者	建物床(m ²)	建物表(m ²)	林野(a)	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	
福井市	35	27	0	6	0	0	2	46	11	2	20	13	33	8	0	25	71	5	7	1694	312	0	96,205	91655	0	4520	0	30	0	
敦賀市	22	9	0	7	1	0	5	11	1	1	5	4	4	0	3	1	11	1	0	137	20	0	37,718	17352	0	20340	5	21	0	
小浜市	3	1	0	0	0	0	2	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	11	12	0	4,066	71	0	0	0	3995	0	
大野市	5	5	0	0	0	0	0	10	5	3	2	0	2	2	0	0	5	1	1	714	0	0	4,351	4351	0	0	0	0	0	0
勝山市	8	6	0	2	0	0	0	7	0	0	2	5	4	1	1	2	7	1	2	0	4	0	3,326	3133	0	193	0	0	0	0
鯖江市	19	12	0	3	0	0	4	12	2	1	3	6	6	1	1	4	12	0	3	772	4	0	32,097	28406	0	346	0	2869	476	
あわら市	8	5	0	2	0	0	1	6	0	1	1	4	2	0	1	1	6	0	1	78	2	0	2,044	1639	0	405	0	0	0	0
越前市	13	9	1	0	0	0	3	12	2	0	4	6	7	1	0	6	13	1	1	288	15	6	13,148	7264	136	89	0	5659	0	
坂井市	15	9	0	1	1	0	4	12	0	2	3	7	6	0	0	6	19	0	1	18	25	0	3,388	663	0	1044	1628	53	0	
市計	128	83	1	21	2	0	21	119	22	10	40	47	64	13	6	45	144	9	16	3,712	394	6	196,343	154,534	136	26,937	1,633	12,627	476	
永平寺町	5	1	1	2	0	0	1	4	4	0	0	0	2	2	0	0	4	1	3	529	0	100	57,926	57762	0	162	0	2	0	
池田町	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南越前町	3	1	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	64	14	0	31,737	1163	0	30574	0	0	0	
越前町	6	3	0	0	0	0	3	8	1	1	1	5	2	0	0	2	4	0	1	23	3	0	1,384	1380	0	0	0	4	0	
美浜町	3	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	3	1	0	263	263	0	0	0	0	0	
高浜町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		
おおい町	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,270	0	0	0	414	0	1,856	
若狭町 (内訳)	8	2	0	2	0	0	4	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	9,053	6,093	0	2,960	0	0	0	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	3	2	0	0	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	6,093	6,093	0	0	0	0	0	
旧上中町 若狭消防管轄	5	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,960	0	0	2,960	0	0	0	
町計	30	10	2	7	0	0	11	19	6	1	4	8	5	2	0	3	9	1	5	660	18	120	102,636	66,661	0	34,110	0	1,865	0	
県計	158	93	3	28	2	0	32	138	28	11	44	55	69	15	6	48	153	10	21	4,372	412	126	298,979	221,195	136	61,047	1,633	14,492	476	

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

期間:令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)		
福井市	35	105,869	4	31319	4	2455	4	15546	1	26054	1	78	3	1165	2	2	3	1898	2	42	2	154	5	24581	4	2575	1.39	
敦賀市	22	40,092	3	8838	4	8826	1	27	1	0	0	0	4	6537	3	1099	1	5	1	6461	0	0	3	8278	1	21	3.55	
小浜市	4	50,753	0	0	1	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	50679	1.46	
大野市	5	6,788	1	2329	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1566	0	0	0	0	0	0	1	735	1	712	1	1446	1.69	
勝山市	8	3,486	2	50	0	0	2	70	1	3227	1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	123	1	0	3.83	
鯖江市	19	35,139	1	146	2	13054	2	122	2	158	1	536	1	146	2	564	4	9024	1	4	1	0	0	0	2	11385	2.79	
あわら市	8	2,678	0	0	2	100	2	1896	1	256	0	0	0	1	305	0	0	0	0	1	0	1	121	0	0	0	3.06	
越前市	13	15,255	2	5634	2	2401	1	85	2	4358	0	0	1	178	1	1500	1	0	1	22	1	2	1	1075	0	0	0	0.16
坂井市	15	4,385	1	523	0	0	2	1122	1	202	3	488	4	1689	1	342	1	0	2	19	0	0	0	0	0	0	1.70	
市 計	129	264,445	14	48,839	15	26,910	14	18,868	9	34,255	6	1,118	14	11,281	10	3,812	10	10,927	7	6,548	6	891	13	34,890	11	66,106	0.94	
永平寺町	5	60,398	0	0	0	0	1	30	2	134	2	60,234	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.85		
池田町	1	1,201	0	0	0	0	0	0	1	1,201	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.60		
南越前町	3	32,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7,808	0	0	1	24,732	0	0	0	0	0	0	0	0	3.20	
越前町	6	1,533	0	0	0	0	0	0	2	15	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1,006	1	511	0	0	3.06	
美浜町	3	329	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	319	3.48	
高浜町	2	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2.11	
おおい町	2	2,270	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2,270	0	0	0	0	0	2.62		
若狭町 (内訳)	8	9,602	0	0	0	0	1	6,531	1	2,315	4	111	0	0	0	0	0	0	1	0	1	645	0	0	0	0	6.04	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	3	6,642	0	0	0	0	1	6,531	0	0	2	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
旧上中町 若狭消防管轄	5	2,960	0	0	0	0	0	0	1	2,315	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	645	0	0	0	0		
町 計	30	107,876	0	0	0	3	6,564	7	3,675	7	60,345	3	7,808	0	0	2	24,733	2	2,270	3	1,651	1	511	2	319	3.42		
県 計	159	372,321	14	48,839	15	26,910	17	25,432	16	37,930	13	61,463	17	19,089	10	3,812	12	35,660	9	8,818	9	2,542	14	35,401	13	66,425	1.09	

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

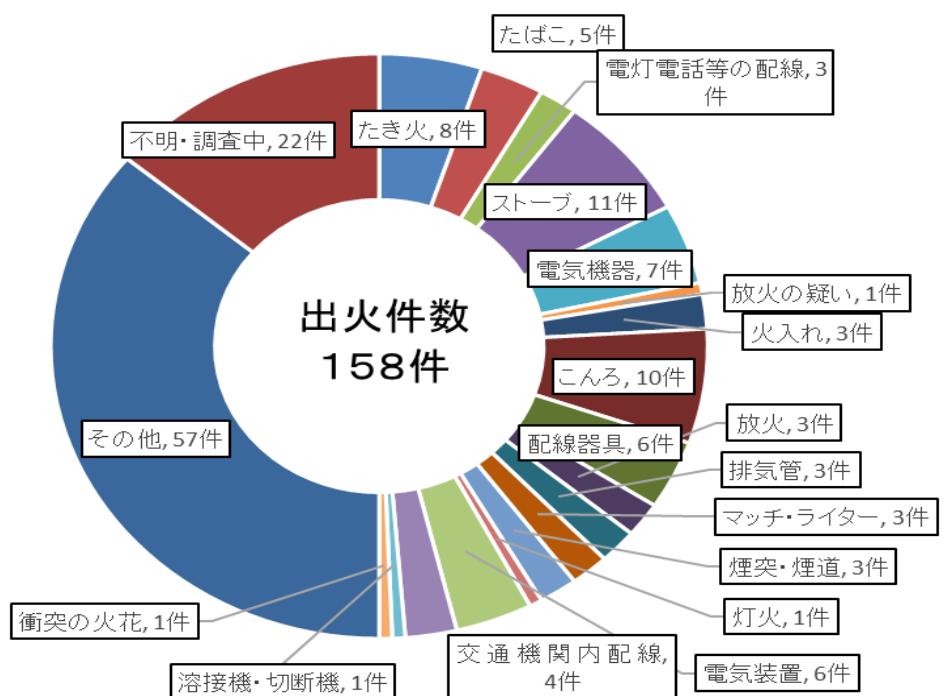
出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和6年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和6年1月1日～令和6年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	罹災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たき火	8	0	1	1	54
たばこ	5	76	2	3	8904
電灯電話等の配線	3	1	3	0	11
ストーブ	11	1,579	17	11	60,954
電気機器	7	345	8	14	16,953
放火の疑い	1	0	0	0	0
火入れ	3	2	1	0	27
こんろ	10	147	10	6	16,198
配線器具	6	109	7	4	10,557
放火	3	105	6	4	2,208
排気管	3	0	1	0	698
マッチ・ライター	3	0	1	1	14
煙突・煙道	3	8	2	2	766
灯火	1	140	5	4	2,425
電気装置	6	0	3	0	3,882
交通機関内配線	4	0	0	0	1356
溶接機・切断機	1	0	0	0	0
衝突の火花	1	0	0	0	70
その他	57	524	48	10	69,269
不明・調査中	22	1,874	23	9	131,291

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	6	1	0	1	0	1	9
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	1	0	0	0	0	1
そ の 他 火 災	0	0	0	0	0	0	0
合 計 (人)	6	2	0	1	0	1	10

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

年齢別(歳) 経過別	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～ 不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる							1				3	4
逃げる暇がなかった (その他)												0
延焼拡大が早く逃げ切れなかった						1						1
逃げ切れなかった(その他)											1	1
放火自殺				1								1
不明・調査中							1			1	1	3
合計(人)	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	5	0
												10

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故または屋外もしくは公衆の出入りする場所、あるいは屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和7年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車57台（全て高規格救急自動車）、救急隊50隊、救急隊員571名（うち救急救命士269名）で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和7年4月1日現在、第2表のとおり50施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は34,322件、搬送人員は31,846人となっている。県内1日あたりの出場件数は約94件となり、約15分に1回の割合で救急隊が出場することになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図である。令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、出場件数と搬送人員ともに令和元年との比較で13%減少し、過去10年で最少となった。一方で、令和3年は、活動の制限が緩和されたことに伴って救急需要も増加し、令和2年との比較で、出場件数は10%、搬送人員は9%増加した。令和4年は令和3年との比較で、出場件数は12%、搬送人員は11%増加し、令和5年は令和4年との比較で、出場件数は7%、搬送人員は6%増加し、出場件数と搬送人員が過去10年で最多となった。令和6年は令和5年とほぼ横ばいの値となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が22,320件で、全体の65.0%を占め、次いで一般負傷5,667件（16.5%）、交通事故2,058件（6.0%）などとなっている。搬送人員では急病が20,633人で全体の64.8%を占め、次いで一般負傷5,339人（16.8%）、交通事故2,085人（6.5%）などとなっている。

第1表 救急体制状況表

消防本部名	救急体制			救急自動車			救急隊員			救急隊	
	高規格 救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	合計		
				救急救命士	救急救命士	救急救命士	救急救命士		救急救命士	救急救命士	
福井市	11	0	11	54	41	27	23	81	64		9
大野市	4	0	4			41	16	41	16		4
勝山市	3	0	3			28	11	28	11		2
永平寺町	3	0	3			34	14	34	14		2
嶺北消防組合	8	0	8			115	42	115	42		8
鯖江・丹生消防組合	7	0	7			98	40	98	40		6
南越消防組合	8	0	8			74	25	74	25		8
敦賀美方消防組合	6	0	6	17	15	20	13	37	28		5
若狭消防組合	7	0	7	8	7	55	22	63	29		6
合計	57	0	57	79	63	492	206	571	269		50

第2表 医療機関状況表

種別 告示別	国・公立	公的	私的		合計	
			病院	診療所		
救急告示医療機関		8	4	28	10	50
その他の医療機関		17	5	18	406	446
合計		25	9	46	416	496

第3表 救急活動状況表

	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	(令和6年中)
救急出場件数	34,322	82	5	49	2,058	320	259	5,667	61	218	22,320	3,283	
搬送人員	31,846	20	5	17	2,085	314	257	5,339	52	135	20,633	2,989	

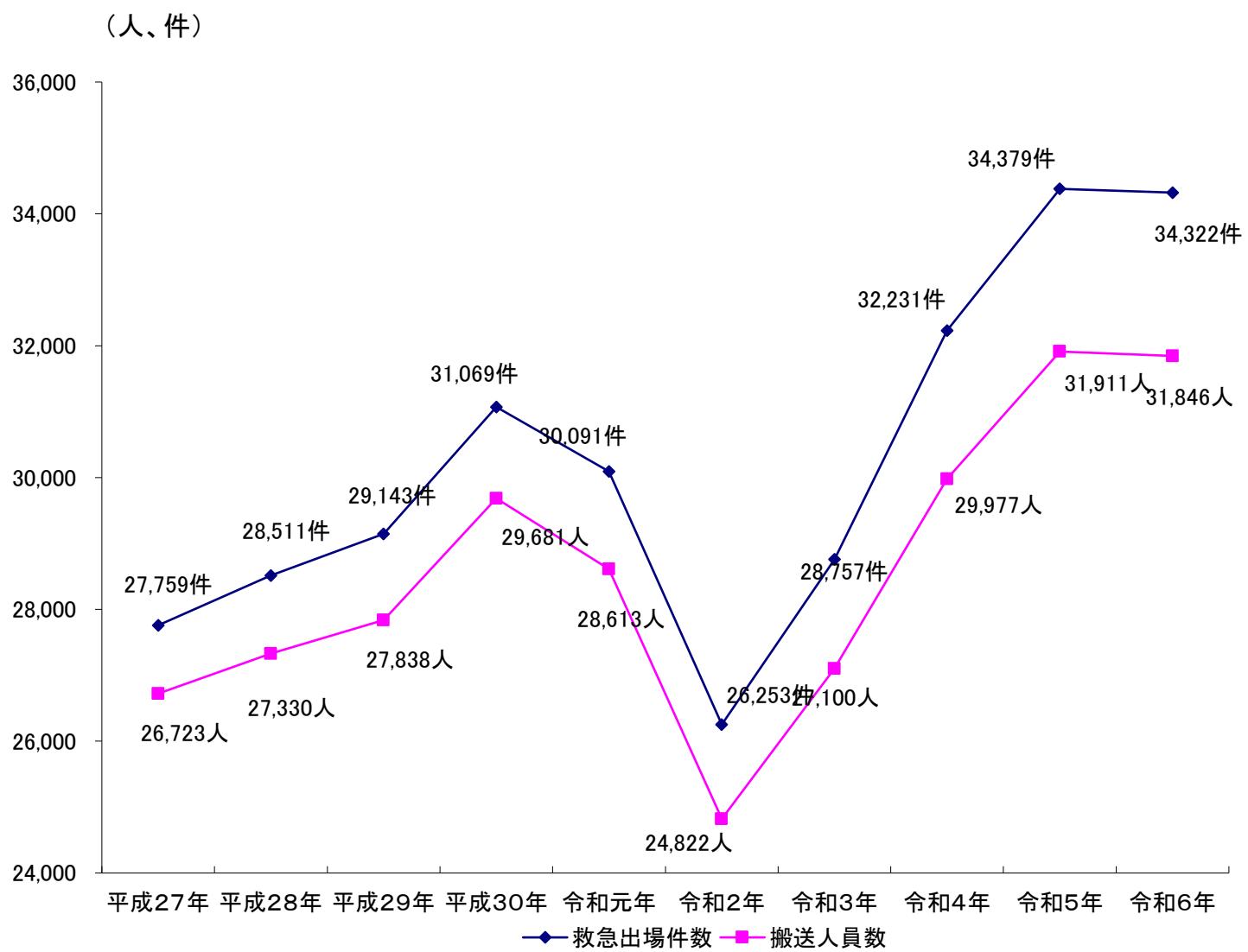
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(令和6年中)

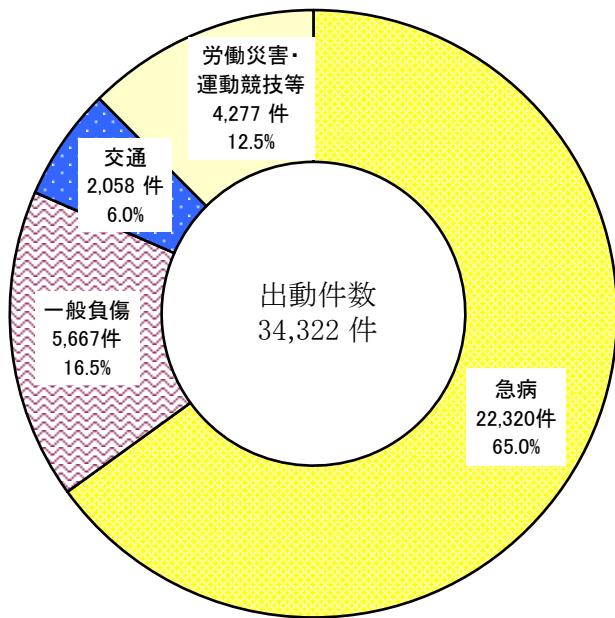
高速道路名	北陸自動車道								小計	
担当消防本部名	嶺北消防組合 消防本部	福井市消防局			鯖江・丹生消防組合 消防本部	南越消防組合 消防本部			敦賀美方消防組合 消防本部	
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀		
救急出動件数	2	5	8	2		20	26	12	19	94
搬送人員	2	4	10	2		20	24	15	13	90

高速道路名	舞鶴若狭自動車道								計		
担当消防本部名	敦賀美方消防組合 消防本部			若狭消防組合 消防本部							
I C 名	敦賀南	若狭美浜	若狭三方	三方五湖	三方五湖	若狭上中	小浜	小浜西	大飯高浜		
救急出動件数	0	2	2	2	0	0	3	1	2	12	106
搬送人員	0	2	2	1	0	0	3	1	2	11	101

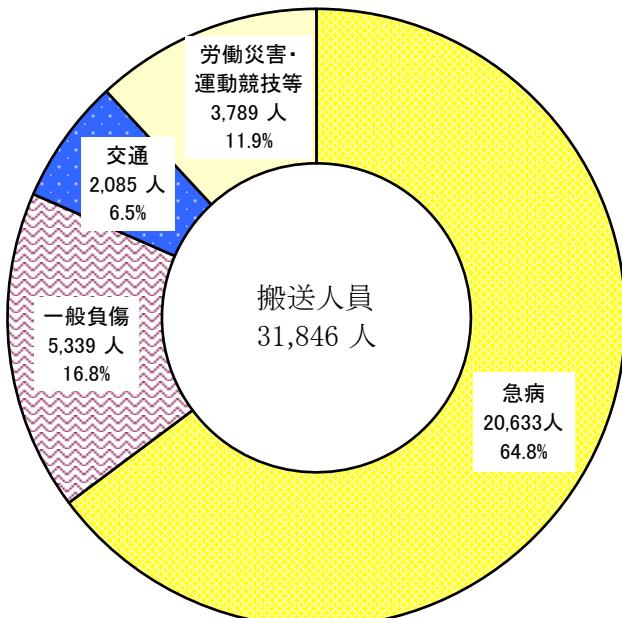
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予防行政の概況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和6年4月1日から令和7年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	31		12		2	
	ロ	公会堂または集会場	213		102		49	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	47		28		7	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1	1		
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	5		4		
	ロ	飲食店	6	30	5	13		
4	百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場		201	11	151	6	2	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	39	63	21	16	10	14
6	イ	病院、診療所または助産所	37	8	16	1	8	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	3	4		
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	3	4	3	1		
	ニ	幼稚園または特別支援学校	206	28	105	10	18	1
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場						
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	795	159	450	59	96	17
16の2	地下街							
合 計			1,587	314	897	115	192	34

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和7年3月31日
- ・調査期間……令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて790人の受験者に対して293人が合格し、合格率は36.4%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は538人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

区分	令和6年度								免状交付延べ数	
	受験者数(人)		合格人数(人)		合格率(%)		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特類	13		5		38.5%		6		77	
第1類	91	29	26	9	28.6%	31.0%	25	10	1,374	385
第2類	42	12	15	4	35.7%	33.3%	15	6	406	125
第3類	34	14	6	6	17.6%	42.9%	5	6	345	85
第4類	142	86	40	38	28.2%	44.2%	41	35	3,108	1,327
第5類	35	18	11	7	31.4%	38.9%	11	6	370	148
第6類		223		96		43.0%		89		2,657
第7類		51		30		58.8%		25		3,559
計	357	433	103	190	28.9%	43.9%	103	177	5,680	8,286

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区分	受講対象者区分	受講者数(人)	実施年月日
消火設備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	103	令和6年8月27日(火)
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	151	令和6年8月28日(水)
警報設備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	284	令和6年9月3日(火) 令和6年9月4日(水)
合	計	538	

第5章 危険物規制

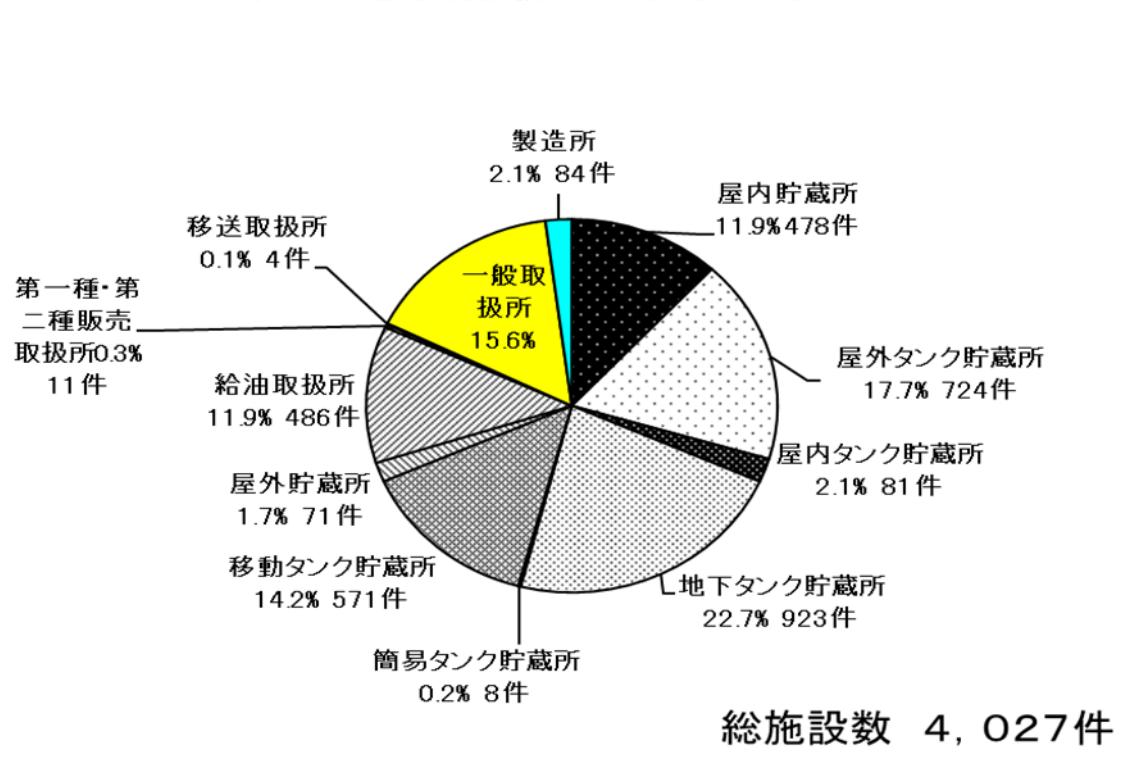
1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

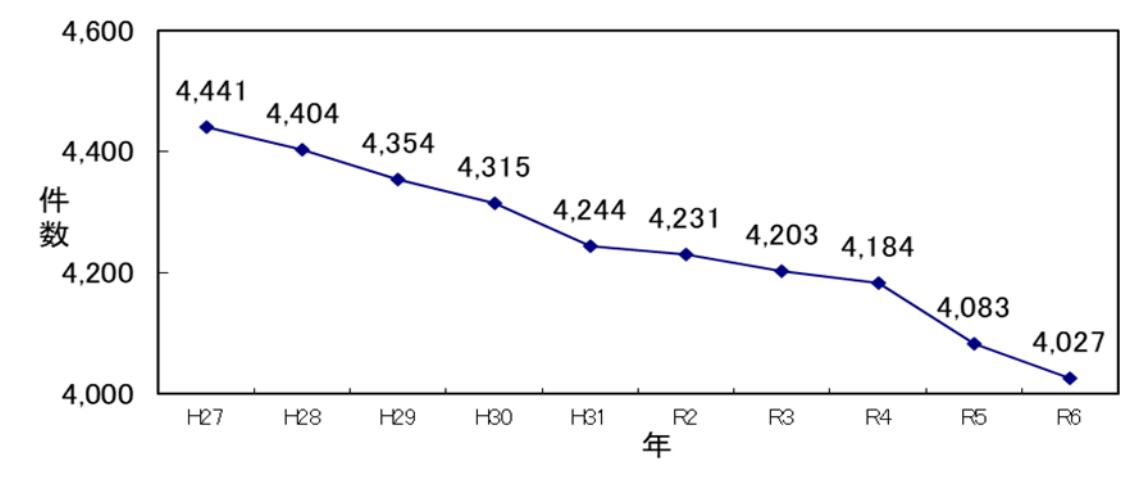
なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。（令和7年3月31日現在）

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し56件減少している。

第1図 危険物施設構成比(完成検査済証交付分)



第2図 過去10年間の危険物施設の推移



第1表 施設別危険物施設数

令和7年3月31日現在

危険物施設の別	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					合計 (A+B+C)	事業所				
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所				
消防本部名																			
福井市	26	111	187	5	20	27	246	1	150	18	740	119	8	0	1	133	261	1,027	482
大野市	0	7	14	0	0	0	48	0	30	0	99	19	0	0	0	30	49	148	88
勝山市	3	9	23	0	0	1	41	0	14	2	90	15	0	0	0	20	35	128	75
永平寺町	0	6	3	0	0	2	18	0	13	0	42	6	0	0	0	11	17	59	35
嶺北消防組合	34	106	192	3	34	12	152	1	104	22	589	81	0	0	2	159	242	865	291
鯖江・丹生消防組合	5	61	46	0	0	4	90	0	48	5	254	40	0	2	0	44	86	345	194
南越消防組合	13	72	103	0	0	13	115	2	77	8	390	63	0	0	0	76	139	542	241
敦賀美方消防組合	1	55	88	7	8	15	116	0	84	11	369	87	0	0	1	94	182	552	218
若狭消防組合	1	53	56	0	0	9	74	4	50	2	248	48	1	0	0	63	112	361	151
合 計	83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123	4,027	1,775

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロットル以上千キロットル未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロットル以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載

第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和7年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所								取扱所						合計 (A + B + C)	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
5倍以下	4	212	107			56	452	8	431	14	1,280	31	3			267	301 1,585
5倍を超えて10倍以下	11	100	91			22	217		18	26	474	54	4			147	205 690
10 " 50 "	32	89	241			5	152		24	24	535	128	2	2		127	259 826
50 " 100 "	18	16	89				36		70	3	214	59				39	98 330
100 " 150 "	3	30	53				26		26		135	49				16	65 203
150 " 200 "		14	10	1			7			1	32	51				9	60 92
200 " 1,000 "	15	16	57	9	3		10		1		84	104				18	122 221
1,000 " 5,000 "		3	23	5	18						26	1				3	4 30
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2 5
10,000倍を超えるもの			38		38						38	1				4	2 7 45
合 計	83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123 4,027
単独	第 1 類		7									7					7
	第 2 類	1	4									4				5	5 10
	第 3 類		3									3				5	5 8
	第 4 類	58	422	708	15	62	83	900	8	570	67	2,758	478	9	2	4	598 1,091 3,907
	第 5 類		12	2								14					14
	第 6 類			2								2					2
混 在	24	32								1	33					22	22 79
合 計	83	480	712	15	62	83	900	8	570	68	2,821	478	9	2	4	630	1,123 4,027

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。

注：2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を、混在には、類を異なる危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和6年4月 1日から
令和7年3月31日まで

危険物施設の別	製造所(A)	貯蔵所							取扱所					合計(A+B+C)			
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計(B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			
消防本部名																	
福井市	検査施設数	24	40	154	3	58		152	14	421	70	1		1	65	137	582
福井市	延回数	24	40	157	3	59		153	14	426	75	1		1	70	147	597
大野市	検査施設数					15		30		45	2			1	3	48	
大野市	延回数					15		30		45	2			1	3	48	
勝山市	検査施設数	2	7	14	1	26		12	2	62	13			16	29	93	
勝山市	延回数	2	7	14	1	26		12	2	62	13			16	29	93	
永平寺町	検査施設数		5	3	2	19		13		42	6			11	17	59	
永平寺町	延回数		5	3	2	19		13		42	6			11	17	59	
嶺北消防組合	検査施設数	16	30	93	4	52		90	9	278	51			2	58	111	405
嶺北消防組合	延回数	16	30	93	4	54		90	9	280	52			2	59	113	409
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	47	36	2	18		47	6	156	33		2		30	65	226
鯖江・丹生消防組合	延回数	5	50	37	2	18		47	6	160	33		2		31	66	231
南越消防組合	検査施設数		8	9	1	48		62	3	131	19			9	28	159	
南越消防組合	延回数		8	9	1	48		63	3	132	19			9	28	160	
敦賀美方消防組合	検査施設数		13	31	8	48		64	4	168	54			40	94	262	
敦賀美方消防組合	延回数		13	31	8	48		64	4	168	54			40	94	262	
若狭消防組合	検査施設数	1	22	47	7	29	3	45	1	154	27			26	53	208	
若狭消防組合	延回数	1	22	47	7	29	3	45	1	154	27			26	53	208	
合計	検査施設数	48	172	387	28	313	3	515	39	1,457	275	1	2	3	256	537	2,042
合計	延回数	48	175	391	28	316	3	517	39	1,469	281	1	2	3	263	550	2,067

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載

2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和7年3月31日現在

消防本部名 容量別	福 井 市	大 野 市	勝 山 市	永 平 寺 町	嶺 北 消 防 組 合	鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	南 越 消 防 組 合	敦 賀 美 方 消 防 組 合	若 狭 消 防 組 合	合 計
100kl未満	146	14	23	3	136	30	93	52	50	547
100kl～500kl未満	16	0	0	0	19	16	10	21	6	88
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合 計	187	14	23	3	192	46	103	88	56	712

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和7年3月31日現在

品名別 容量別	第4類									第4類以外の類(A+B)	合計(A+B)
	原 油	ナ フ サ	ガ ソ ン	灯 油	輕 油	重 油	第 4 石 油 類	アル コ ール 類	そ の 他		
100kl未満	0	0	5	60	35	130	16	62	235	543	4 547
100kl～500kl未満	0	0	0	4	15	35	9	0	25	88	0 88
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0 15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	6	3	4	7	0	0	7	27	0 27
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0 2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0 3
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0 30
合 計	33	0	12	69	55	182	25	62	270	708	4 712

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区分 種別	令和3年度 合格率 (%)	令和4年度 合 格 率 (%)	令和5年度 合 格 率 (%)	令和6年度		
				受験者数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲 種	36.2	36.6	37.6	179	74	41.3
乙 種	第 1 類	63.2	67.7	69.8	88	52
	第 2 類	69.2	62.4	63.7	84	56
	第 3 類	70.3	73.2	71.9	102	72
	第 4 類	37.3	30.0	27.6	1,832	544
	第 5 類	70.1	37.9	74.4	143	90
	第 6 類	59.2	74.1	70.9	113	67
小 計		45.5	38.5	36.4	2,541	955
丙 種	57.2	45.6	45.2	390	195	50.0
合 計	46.6	39.4	37.6	3,110	1,224	39.4

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区分 講習種別	令和3年度 受講者数 (人)	令和4年度 受講者数 (人)	令和5年度 受講者数 (人)	令和6年度	
				受講者数 (人)	講習実施回 数(回)
給 油 取 扱 所	399	377	437	467	10
石 油 コ ン ビ ナ ー ト	45	25	40	29	2
そ の 他	1,580	1,165	1,728	1,764	14
合 計	2,024	1,567	2,205	2,260	26

注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、令和3年が9件と最も多い。
(2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が7件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危 険 物 施 設 の 別 内 訳	製 造 所 (A)	貯 藏 所							取 扱 所							合 計 (A + B + C + D)
			屋 内 貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	屋 内 貯 藏 所	地 下 貯 藏 所	簡 易 貯 藏 所	移 動 貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	小 計 (C)	そ の 他 (D)
令和2年	火 災									0					1	1	1
	漏えい									1		1			1	1	2
	その他									0					0	0	0
令和3年	火 災	1								0					2	2	3
	漏えい			1		1		1		3	1				1	2	5
	その他									0	1				1	1	1
令和4年	火 災	1								0					1	1	2
	漏えい			1						1					1	1	2
	その他									0	1				1	1	1
令和5年	火 災									0					0	0	0
	漏えい									0					0	0	0
	その他									0					0	0	0
令和6年	火 災							1		1					0	0	1
	漏えい							2		2					0	0	2
	その他							1		1					0	0	1
火 灾 計		2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	4	0
漏えい 計		0	0	2	0	1	0	4	0	7	1	0	0	0	3	4	0
その他 計		0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	2	0
総 計		2	0	2	0	1	0	6	0	9	3	0	0	0	7	10	0
																	21

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和7年4月1日現在で1,250名である。

また、消防団員数は令和7年4月1日現在で5,806名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要な不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」(会長：消防庁長官)が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導をもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245	1,252	1,248	1,250	1,250
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874	5,858	5,849	5,826	5,806

第2表 消防機関の現況

区分		令和6年4月(B)	令和7年4月(A)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	26	26	0
	消防職員数	1,250	1,250	0
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	236	236	0
	消防団員数	5,826	5,806	△ 20

第3表 消防の概況

令和7年4月1日現在

区分 消防本部名	消防本部・署所							消防団							消防水利			基地局および固定局	移動局		
	設置別		消 防 署 数	出 張 所 数	～消 防 実 員 員 ～数	自 普 通 動 消 防 車 ボ ン 数 普	自 水 槽 付 動 消 防 車 ボ ン 数 普	消 防 团 数	分 团 数	消 防 团 常 備 部 数	団員数			自 普 通 動 消 防 車 ボ ン 数 普	小 型 動 力 ボ ン 付 積 載 車	消 火 栓 ～ 公 設 ～	防 火 水 槽				
	消防本部のみ設置	消防本部署を併設									計	常勤	非常勤	付 小 型 動 力 ボ ン 数 普	い 車 両 に い 積 載 も し の て	4 0 ～ ト ン 以 上	2 0 ～ 4 0 ト ン 未 満				
福井市	○		4	13	358	18	3	1	54		971		971	1	52		9,619	832	30	15	174
大野市		○	1	1	55	4		1	9		441		441	10	20	4	487	318	19	3	37
勝山市		○	1		36	3	1	1	12		289		289	2	12		437	249	13	15	42
永平寺町		○	1		39		3	1	11		376		376	10	10		184	261	11	3	27
嶺北消防組合		○	4	1	206	5	5	2	33		707		707	33	8	15	1,623	1,240	102	4	130
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	133	5	1	2	35		549		549	29	3		1,672	914	37	5	254
南越消防組合		○	3	2	146	6	4	3	33		790		790	9	13	9	2,539	689	32	7	149
敦賀美方消防組合		○	3	1	147	6	3	3	16		725		725	20	36	3	1,337	238	161	8	142
若狭消防組合		○	1	4	130	7	3	4	33		958		958	9	38	36	1,093	529	52	6	173
計	1	8	19	26	1,250	54	23	18	236	0	5,806	0	5,806	123	192	67	18,991	5,270	457	66	1,128

第4表 階級別消防職員数

令和7年4月1日現在

区分 消防本部名	消防職員													条例定数			
	計(A) うち女性(B) +(C)	消防吏員(実員)									その他の職員						
		消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	単純労務職員			
福井市	365	8	()	1	5	26	85	58	68	66	49	358	7	()	7	356	
大野市	57	3	()	()	()	1	5	17	13	7	12	55	2	()	2	55	
勝山市	40	1	()	()	()	1	7	13	5	3	7	36	4	()	4	42	
永平寺町	40	3	()	()	()	1	6	10	7	5	10	39	1	()	1	45	
嶺北消防組合	208	11	()	1	3	6	47	42	42	34	31	206	2	()	2	218	
鯖江・丹生消防組合	134	6	()	()	1	12	34	20	18	21	27	133	1	()	1	140	
南越消防組合	152	6	()	()	1	10	34	33	24	21	23	146	6	()	6	154	
敦賀美方消防組合	149	5	()	()	1	13	26	26	27	28	26	147	2	()	2	156	
若狭消防組合	131	4	()	()	1	7	30	22	26	25	19	130	1	()	1	140	
計	1,276	47	0 (0)	2 (0)	12 (0)	77 (0)	274 (4)	241 (4)	230 (4)	210 (8)	204 (21)	1,250 (41)	26 (6)	0 (0)	0 (0)	26 (6)	1,306

注1: 下段の()は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和7年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	971 (58)	5 ()	4 ()	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	649 (45)	1,055
大野市	441 (90)	1 ()	2 ()	9 (1)	10 (2)	34 (3)	67 (6)	318 (78)	485
勝山市	289 (21)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	24 (1)	33 (2)	205 (18)	299
永平寺町	376 (41)	1 ()	2 ()	12 (1)	11 (1)		34 ()	316 (39)	412
嶺北消防組合	707 (17)	2 ()	8 ()	33 ()	52 ()	2 (2)	63 (3)	547 (12)	773
鯖江・丹生消防組合	549 (26)	2 ()	5 ()	33 ()	33 ()		68 (1)	408 (25)	647
南越消防組合	790 (47)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2)		82 (5)	632 (38)	826
敦賀美方消防組合	725 (37)	3 ()	4 ()	16 ()	16 ()	53 (1)	88 (3)	545 (33)	769
若狭消防組合	958 (32)	4 ()	6 ()	33 ()	23 ()	54 (1)	95 ()	743 (31)	970
計	5,806 (369)	22 (0)	42 (0)	234 (6)	243 (7)	269 (12)	633 (25)	4,363 (319)	6,236

注：下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和7年4月1日現在

年齢別 消防本部名	消防吏員										平均年齢合計 (B) (A)	年齢別 団員数 (C)	消防団員										平均年齢合計 (D) (C)		
	(A)のうち												(C)のうち												
	18歳 (S)	20歳 (S)	25歳 (S)	30歳 (S)	35歳 (S)	40歳 (S)	45歳 (S)	50歳 (S)	55歳 以上	年齢合計 (B)		18歳 (S)	20歳 (S)	25歳 (S)	30歳 (S)	35歳 (S)	40歳 (S)	45歳 (S)	50歳 (S)	55歳 (S)	60歳 (S)	65歳 以上			
福井市	358	3	44	54	39	44	24	37	56	57	14,356	40.1	971	4	1	20	47	73	165	183	190	154	98	36 47,507 48.9	
大野市	55	4	4	8	8	7	5	5	9	5	2,082	37.9	441	0	3	10	21	43	48	81	76	72	52	35 22,168 50.3	
勝山市	36	0	5	4	0	6	1	6	12	2	1,502	41.7	289	0	1	7	11	32	58	62	47	31	30	10 13,799 47.7	
永平寺町	39	1	6	6	4	5	1	7	7	2	1,474	37.8	376	3	18	19	15	21	38	56	66	45	48	47 18,872 50.2	
嶺北消防組合	206	3	20	28	25	31	17	24	40	18	8,160	39.6	707	0	5	20	24	88	110	140	138	94	55	33 34,082 48.2	
鯖江・丹生消防組合	133	7	19	21	12	14	10	19	22	9	5,010	37.7	549	3	7	29	40	78	115	97	107	38	22	13 24,500 44.6	
南越消防組合	146	3	19	19	23	17	4	23	27	11	5,617	38.5	790	1	9	15	51	76	107	150	156	116	74	35 38,313 48.5	
敦賀美方消防組合	147	5	15	14	21	20	25	29	12	6	5,580	38.0	725	0	29	46	103	169	136	109	60	37	18	18 29,782 41.1	
若狭消防組合	130	2	15	21	20	22	9	13	15	13	4,709	36.2	958	0	14	49	151	210	192	152	91	54	31	14 40,097 41.9	
計	1,250	28	147	175	152	166	96	163	200	123	48,490	38.8	5,806	11	87	215	463	790	969	1,030	931	641	428	241 269,120 46.4	

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和7年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員										消 防 团 員															
	合 計	5 年 未 満	5 年 上 満	10 年 未 満	10 年 上 満	15 年 未 満	15 年 上 満	20 年 未 満	20 年 上 満	25 年 未 満	25 年 上 満	30 年 未 満	30 年 以上	合 計	5 年 未 満	5 年 上 満	10 年 未 満	10 年 上 満	15 年 未 満	15 年 上 満	20 年 未 満	20 年 上 満	25 年 未 満	25 年 上 満	30 年 未 満	30 年 以上
		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年				
福井市	358	51	60	55	32	24	30	106	971	181	208	169	174	104	75	60										
大野市	55	10	7	9	5	6	7	11	441	95	55	110	65	43	36	37										
勝山市	36	6	2	5	3	4	5	11	289	53	45	51	37	50	31	22										
永平寺町	39	8	5	7	2	2	6	9	376	180	57	60	37	21	14	7										
嶺北消防組合	206	24	30	31	33	14	15	59	707	133	116	116	123	87	78	54										
鯖江・丹生消防組合	133	31	17	14	18	9	18	26	549	108	116	124	82	69	28	22										
南越消防組合	146	21	27	25	11	6	23	33	790	130	152	147	118	102	75	66										
敦賀美方消防組合	147	15	18	33	21	18	19	23	725	223	200	136	87	45	14	20										
若狭消防組合	130	16	17	29	16	12	11	29	958	291	311	165	104	54	29	4										
計	1,250	182	183	208	141	95	134	307	5,806	1,394	1,260	1,078	827	575	380	292										

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和7年4月1日現在

区分	消防本部・署現有																									
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)				消屈防折ポンはしご自動車付	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	ポポンプ小型動力	積載車	小形動力ボンブ車付	車両に積載しないもの	広報車	資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	その他の車両
			18m級	24m級	30m級	38m級																				
消防本部名																										
福井市消防局	18	3	2			1	1	1	1	3	5			7	6	5				11 (11)	2	8				
大野市消防本部	4			1						1	1			8		3		1		4 (4)	1	1				
勝山市消防本部	3	1									1				1	1				3 (3)	1	2				
永平寺町消防本部		3									1			3		1				1 (3)	1					
嶺北消防組合	5	5				2		1	4	5		4		1	5			1		8 (8)	2	6				
鯖江・丹生消防組合	5	1		1					1	2				6	2		1	2		7 (7)	1	1				
南越消防組合	6	4		1					2	3			2	6	5	1	1	1		8 (8)	3					
敦賀美方消防組合	6	3			1				2	1			5	1	5		1			6 (6)	1	8				
若狭消防組合	7	3		1				1	1				5	2			1		7 (6)	1	1					
計	54	23	2	1	3	2	3	1	2	14	20	0	4	25	26	29	1	4	2	4	1	57 (56)	13	27		

注:救急自動車の()は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和7年4月1日現在

種 別 消防本部名	消防 団 現 有			
	普通消防ポンプ 自動車	水槽付消防ポン プ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポン プ付積載車	車両に積載して いないもの
福 井 市	1		52	0
大 野 市	10		20	4
勝 山 市	2		12	0
永 平 寺 町	10		10	0
嶺 北 消 防 組 合	33		8	15
鯖江・丹生消防組合	29	4	3	2
南 越 消 防 組 合	9		6	9
敦賀美方消防組合	20		36	0
若 狹 消 防 組 合	9		38	36
計	123	4	185	66

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和7年4月1日現在

種別 消防本部名	計		化学消火剤種別									
	(A) (kg) (ア)~(オ)	(B) (kg) (カ)~(ケ)	たん白系		合成界面活性剤 (kl) (イ)	水成膜泡消火薬剤 (kl) (エ)	水溶性液体用泡消火薬剤 (耐アルコール用) (kl) (オ)	粉末(kg)				
			3%型 (kl) (ア)	6%型 (kl) (イ)				第1種 粉末 (カ)	第2種 粉末 (キ)	第3種 粉末 (ク)	第4種 粉末 (ケ)	
福井市	15.15	0.00	10.40	0.09	1.63	2.69	0.34					
大野市	1.79	0.00			0.60	1.19						
勝山市	0.76	0.00			0.76							
永平寺町	0.50	0.00			0.50							
嶺北消防組合	27.77	0.00	5.06		3.57	19.14						
鯖江・丹生消防組合	1.96	0.00			0.44	1.52						
南越消防組合	2.61	0.00			1.05	1.56						
敦賀美方消防組合	1.63	0.00	0.20		0.89	0.54						
若狭消防組合	0.35	0.00			0.35							
計	52.52	0.00	15.66	0.09	9.79	26.64	0.34	0.00	0.00	0.00	0.00	

第11表 消防水利の状況

令和7年4月1日現在

消防本部名	種別	計	消火栓			小計(C) (D)+(E)				公設 (D)				私設 (E)				その他									
						防火水槽				防火水槽				防火水槽				小	河	海	プ	壕	下	そ			
			(A)	小計	公設	私設	100	60	40	20	井戸	100	60	40	20	井戸	100	60	40	20	井戸	川	・	・	池	水	の
			(B)				m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	以上	未満	未満	未満	未満	未満
(C)	(B)	(B)	(A)	(B)	(B)	(B)	m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	m ³	m ³	m ³	m ³	井戸	以上	未満	未満	未満	未満	未満
福井市	10,481	9,619	9,619	0	30	8	794	30	0	30	8	794	30	0	0	0	0	0	0	0	314	120	74			120	
大野市	850	487	487	0	2	3	313	19	26	0	1	247	13	26	2	2	66	6	0	0							
勝山市	699	437	437	0	8	5	236	13	0	3	2	198	13	0	5	3	38	0	0	0							
永平寺町	456	184	184	0	1	25	235	11	0	1	25	233	11	0	0	0	0	2	0	0	8		8				
嶺北消防組合	2,962	1,619	1,619	0	52	37	1,152	102	0	12	19	956	78	0	40	18	196	24	0	39	5	1	33				
鯖江・丹生消防組合	2,623	1,672	1,672	0	17	13	884	37	0	15	10	853	37	0	2	3	31	0	0	30			25			5	
南越消防組合	3,358	2,637	2,539	98	7	19	663	32	0	6	19	647	30	0	1	0	16	2	0	102	61	1	21	18		1	
敦賀美方消防組合	1,789	1,337	1,337	0	5	8	225	161	53	5	3	207	153	53	0	5	18	8	0	0							
若狭消防組合	1,674	1,093	1,093	0	1	6	522	52	0	1	2	513	45	0	0	4	9	7	0	29			29				
計	24,892	19,085	18,987	98	123	124	5,024	457	79	73	89	4,648	410	79	50	35	376	47	0	522	186	2	190	18	0	126	

第12表 消防機関の出動状況

令和6年中

種別 区分		県計 (ア)～(サ)	火災 (ア)	風水害等の災害 (イ)	演習 訓練 (ウ)	広報 指導 (エ)	警防 調査 (オ)	火災原因 調査 (カ)	特別警戒 (キ)	捜索 (ケ)	予防 查察 (ケ)	誤報等 (コ)	その他 (サ)
消防本部・署所	出動回数	21,122	153	44	2,579	3,075	5,406	218	1,418	14	6,018	110	2,087
	出動延人数	67,850	2,474	164	12,280	9,234	15,714	1,001	4,184	124	15,543	1,058	6,074
消防団	出動回数	4,695	85	21	1,388	337	28	0	410	1	0	8	2,417
	出動延人数	34,190	1,315	353	17,426	2,812	345	0	3,614	5	0	65	8,255

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和6年中

種別 区分		県計 (ア)～(キ)	火災 (ア)	風水害等の災害 (イ)	救急業務 (ウ)	演習訓練 (エ)	特別警戒 (オ)	捜索 (カ)	その他 (キ)
消防吏員	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	8	0	0	1	4	0	0	3
消防団	死 者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	3	1	0	0	2	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和7年4月1日現在

区分 消防本部名	火災報知機				テレビ監視装置 (基)	望 楼			電 話					救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機				小計 (ア)+(イ) (基)	24時間監視体制をとっているものの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	消防機関にあるもの					救急指令専用 (キ) (回線)	消防指令装置と併用	
		小 計 (ア) (基)	公衆用 (ア) (基)	自衛用 (イ) (基)					小計 (オ)+(カ)+(キ) (回線)	火災報知専用電話 (オ) (回線)	消防電話回線 (カ) (回線)	加入電話 1ヶ月あたりの経費 (千円) (回線)				
福井市		0				0			256	18	205	160	33		1	
大野市		0			1	0			31	9	1	74	21			
勝山市		0				0			19	16			3			
永平寺町		0				0			16	8			8		1	
嶺北消防組合		0				0			37	2			35			
鯖江・丹生消防組合		0				0			65	11	5	233	49	1	1	
南越消防組合		0				0			55	12	2		41			
敦賀美方消防組合		0				0			50	13	4	252	33			
若狭消防組合		0			1	0			48	8	8		32			
計		0	0	0	0	2	0	0	577	97	225	719	255	1	3	

第15表 無線通信施設等の現況

令和7年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線(デジタル方式)											携帯電話等			
	固定局			基地局および携帯基地局					移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊		
	局 数		局 の 電 波 の 他 の 一 数 の	局 数	電 波 の 数			陸 上 移 動 局 数	携 帶 局 数						
	多重	その他		基地局	携 帶 基 地 局	統 制 波	主 運 用 波	活 動 波	防 災 相 互 波	陸 上 移 動 局 数	携 帶 局 数				
消防本部名															
福井市	6			9		3	1	5		174		4	11	11	
大野市				3		3	1	2		37		2	4	4	
勝山市		12	12	3		3	1	2		42		1	2	2	
永平寺町				3		3	1	2		27		1	3	3	
嶺北消防組合				4		3	1	3		130		1	9	4	
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254		3	6	6	
南越消防組合				7		3	1	3		149		5	8	8	
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		142		3	6	5	
若狭消防組合				6		3	1	2	1	173		1	6	6	
計	6	12	12	48	0	27	9	23	1	1,128	0	0	21	55	49

第16表 幼年消防クラブの現況

令和7年4月1日現在

種別 消防本部名	組織別クラブ数						組織別クラブ員数						指導者数			
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
福井市	2	2					33	33					11	11		
大野市	14	14					800	800					14	14		
勝山市	10	10					363	363					37	37		
永平寺町	1			1			122	122					81	81		
嶺北消防組合	44	44					3,759	3,759					44	44		
鯖江・丹生消防組合	37	37					1,308	1,308					88	88		
南越消防組合	33	33					723	723					33	33		
敦賀美方消防組合	35	35					2,234	2,234					35	35		
若狭消防組合	1	1					26	26					5	5		
計	177	176	0	1	0	0	9,368	9,368	0	0	0	0	348	348	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和7年4月1日現在

種別 消防本部名	組織別クラブ数						組織別クラブ員数						指導者数			
	計	学校単位		市町 単位	地区 単位	その他	計	学校単位		市町 単位	地区 単位	その他	計	学校単位		その他
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校	
福井市	50	50					2,456	2,456					166	166		
大野市	9	9					466	466					9	9		
勝山市	15	3			3	9	751	314			49	388	46	9		37
永平寺町	8					8	142					142	43			43
嶺北消防組合	26	26					914	914					26	26		
鰐江・丹生消防組合	18	18					2,215	2,215					89	89		
南越消防組合	21	21					735	735					21	21		
敦賀美方消防組合	10	10					321	321					10	10		
若狭消防組合	0						0						0			
計	157	137	0	0	3	17	8,000	7,421	0	0	49	530	410	330	0	80

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和7年4月1日現在

種別 消防本部名	合計	周囲の状況								活動状況別組織数		
		市街地		農山村地域		漁村地域		その他		消火活動を行う	消火活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行っている	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている(c)
		組織数 (ア)+(イ)+ (ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+ (ク)+(ケ)	(ア)	(カ)	(イ)	(キ)	(ウ)	(ク)	(エ)	(ケ)	(a)
福井市	33	790	18	446	14	284	1	60			5	28
大野市	0	0										
勝山市	7	81	2	30	5	51					7	
永平寺町	1	15	1	15								1
嶺北消防組合	2	445	2	445								2
鯖江・丹生消防組合	15	831	1	120	11	367	3	344			10	5
南越消防組合	12	134	8	73	4	61					12	
敦賀美方消防組合	4	877	2	866	1	9	1	2			2	2
若狭消防組合	7	114			7	114						7
計	81	3,287	34	1,995	42	886	5	406	0	0	14	24
												43

第19表 消防表彰受賞状況

年 度 種 類		平27	28	29	30	令元	2	3	4	5	6
叙勲	21	22	23	21	23	21	20	23	15	20	
藍綬褒章	2				3	1	1	2	1	1	
消防	功労章	1	1	1			1	1	2	2	
防	永年勤続功労章	22	22	23	23	23	24	23	25	25	25
府	表彰旗										
長	竿頭綬	1									
官	消防団地域活動	消防団	1	1				1		1	2
表	事業所	1			1	4		1	1	2	1
彰	少年消防クラブ	表彰旗								1	
	表彰楯	1	1	1	1	1	1	1	1		1
	指導者										
福	功労章	40	40	40	40	40	39	40	40	40	40
井	永年勤続精績章	132	168	149	154	137	120	155	143	149	167
県	銀杯	49	55	67	58	68	47	54	64	52	45
知	退職幹部	49	23	20	17	19	20	25	14	22	13
事	感謝状	人命救助その他									
表	配偶者等表彰	33	31	26	47	44	36	49	44	35	33
彰	竿頭綬	46	47	49	52	45	49	54	74	65	64
	特別功労章										

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置
昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転
平成8年 4月1日 福井市大畠町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所 在 地 福井市大畠町97-21-3
(イ) 敷 地 面 積 40,759.02m²

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積……… 40,759.02m² • 建物延面積……… 8,001.62m²

名 称	規 模・構 造	延べ面積(m ²)	内 容	
教 育 管 理 棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249m ²	1階	校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室
			2階	普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等
			3階	寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体 育 館	鉄骨 造 2 階 建	2,106.25m ²	1階 2階	食堂 学生ホール 和室 倉庫 アリーナ
雨 天 訓 練 場	鉄骨 平屋建	1,091.22m ²	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫	
訓 練 塔 (主)	S R C 造 地下1階建	594.84m ²	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設	
			放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室	
訓 練 塔 (補 助)	鉄 骨 造 地 上 7 m	A塔 70.44m ² B塔 32.86m ²	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設	
			障害突破 垂直降下訓練施設	
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m~3.0m 容量630m ³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43m ²)		
その他の施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20m ²	
			煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)	
屋 外 訓 練 場		7,800m ² (120m×65m)	1周200mグラウンド	

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。

第1表 令和6年度 消防本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育実日数	延時間	消防本部名										
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	その他	合計
消防職員	初任教育(第59期)		R6 4.3~9.25	119	828	7	3	5	2	3	1	8	4	3		36
	幹部教育	初級幹部科	隔年実施により未実施													
		中級幹部科 (第34期)	R6 12.4~12.12	7	49	4	2	2	2		1	2	2			15
		上級幹部科 (第17期)	R6 6.18~6.20	3	21	4	2	2	3	1	1	2	2			17
	専科教育	警防科 (第40期)	R6 11.11~11.22	10	70	4	2	2	2	1	1	3	4			19
		特殊災害科	隔年実施により未実施													
		予防査察科 (第20期)	R7 2.12~2.26	10	70	4	2	1	1	1	1	3	2			15
		危険物科	隔年実施により未実施													
		火災調査科 (第25期)	R7 1.7~1.21	10	70	3	2	3	2	1	1	4	4	1		21
		救助科 (第48期)	R6 10.3~11.6	23	161	4	2	1	2		1	2	4			16
	特別教育	救急科 (第32期)	R7 1.23~3.14	36	252	9	4	9	4	1	1	7	7	2	2	46
		水難救助科 (第28期)	R6 8.20~9.4	12	84	4	2	1	2			1	2			12
		特別講座等	(下記公開講座に記載)													
		操法指導員教育	R6 4.16~4.17	2	14	5	4	4	4	2	2	4	4	3		32
		起震車操作員教育(新規養成)	R6 5.29	1	3	4	4	3	2			2	4			19
	小計			233	1,622	52	29	33	26	10	10	38	39	9	2	248
消防団員	初級幹部科		R6 11.9~11.10	2	12	6	7	2	9	7	2	5	4	3		45
	指揮幹部科	現場指揮課程	R6 11.23~11.24	2	14	2	5	3	3	3	2	3	4	2		27
		分団指揮課程	R6 12.7~12.8	2	10	2	5	3	8	1	2	5	3	2		31
		消防団員指導員教育(日消)	R6 10.26~10.27	2	12	1	2	3	3	1	1	2	2	1		16
	小計			8	48	11	19	11	23	12	7	15	13	8		119
その他	自主防災組織指導員教育															
	女性防火クラブ員教育		R6 10.6	1	6	4		1			2	2	5	2		16
	小計			1	6	4		1			2	2	5	2		16
合計				242	1,676	67	48	45	49	22	19	55	57	19	2	383
公開講座	通信指令特別教育	R6 8.5	1	3	3	5	2	4	1	3	5	5	2			30
	女性消防吏員活躍推進研修	R6 10.11	1	6	5	4	8	3	1	2	2	8	2		35	
	救助科	R6 10.21	1	4	14	6	9	4		3	6	4	3		49	
	中級幹部科	R6 12.10	1	4	3	4	14	2	1	3	5	4	2		38	
	火災調査科	R7 1.16	1	4	2	3	3	2		2	3	2	3		20	
公開講座合計				5	21	27	22	36	15	3	13	21	23	12		172
総合計				247	1,697	94	70	81	64	25	32	76	80	31	2	555

第2表 令和6年度 消防学校教育訓練実施状況

区分	項目 教育訓練の種類	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数			
					学校	県	消防	専門
消防職員	初任教育(第59期)	36	119	828	506	54	218	50
	幹部教育	初級幹部科	隔年実施					
		中級幹部科(第34期)	15	7	49	7	8	25
		上級幹部科(第17期)	17	3	21	4	3	10
	専科教育	警防科	19	10	70	20	7	25
		特殊災害科	隔年実施					
		予防査察科(第19期)	15	10	70	11	3	53
		危険物科	隔年実施					
		火災調査科(第25期)	21	10	70	10	8	37
	特別教育	救助科(第48期)	16	23	161	16	8	109
		救急科(第32期)	46	36	252	10	2	58
		水難救助科(第28期)	12	12	84	3		74
	操法指導員教育	操法指導員教育	32	2	14	2		12
		起震車操作員教育(新規養成)	19	1	3	3		
小計		248	233	1,622	592	93	621	316
消防団員	初級幹部科	45	2	12	7			5
	指揮幹部科							
		現場指揮課程	27	2	14	1		13
		分団指揮課程	31	2	10	6		4
	消防団指導員教育(日消)	16	2	12	11	1		
小計		119	8	48	25	1	13	9
その他	自主防災組織指導員教育							
	女性防火クラブ員教育	16	1	6	5			1
	小計	16	1	6	5			1
合計		383	242	1,676	622	94	634	326
公開講座	中級幹部科	38	1	4				4
	救助科	49	1	4				4
	火災調査科	20	1	4				4
	通信指令員教育	30	1	3				3
	女性消防吏員活躍推進	35	1	6				6
	公開講座合計	172	5	21				21
総合計		555	247	1,697	622	94	634	347

第3表 令和6年度消防大学校派遣者数

学 科		派遣者数	備 考
幹 部 科	(第78期)	1	若狭消防
		1	福井市消防局
	(第79期)	1	永平寺町消防
		1	消防学校
	(第80期)	1	敦賀美方消防
		1	鯖江・丹生消防
新 任 消 防 長 ・ 学 校 長 科	(第34期)	1	消防学校
警 防 科	(第114期)	1	鯖江・丹生消防
救 助 科	(第89期)	1	嶺北消防
予 防 課	(第117期)	1	南越消防
火 災 調 査 科	(第47期)	1	敦賀美方消防
新 任 教 官 科	(第18期)	1	消防学校
航 空 隊 長 コ 一 ス	(第24回)	1	防災航空事務所
危 機 管 理 ・ 国 民 保 護 コ 一 ス	(第14回)	1	福井市
合 計		14	